学校番号	T3011

令和８年度　工業科（A 系列）

教科	工業	科目	（学）自動車製図Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「製図」　（実教出版）						
副教材等	自動車整備士養成課程　三級自動車整備士（総合）　（日本自動車整備連合会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車整備を専門的な観点から学習して身につける。また、自動車の整備に必要な図面を読み取る力を養うため、平面から立体を容易に想像できるような図面の基本的な学習を行う。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工業の各分野に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車整備に必要な図面の読み取る力を身につける。	平面から立体を容易に想像できる力、自動車部品に関する物の働きについて思考できるように教科書などを使用し作図にて表現できるようにする。	作図を通じて主体的に取り組み図面を書き、製図道具を用いて立体的に表現することで、興味関心をもたせる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		製図の基本であるJISに基づいた作図法(投影図・等角図)について学ぶ 線の書き方、等角図、投影図について	a:正しい作図について b:正しく図面が読み取ることができているかどうか c:自分で考え作図ができているかどうか	製図の基本ができているか	正しい作図ができているか	自分が考え作図ができているか
		基礎製図検定課題等角図、投影図、補助線、断面図、展開図等について作図する	a:正しい作図ができているかどうか b:正しい図面の読み取りができているか、作図ができているかどうか c:自分で考え作図ができているかどうか	基本的な作業ができているか	図面を読み取り作図ができているか	自分で考え作図ができているか
後期		二次元 CAD を使用し、投影図、等角図の作成をおこなう	a:正しい機械操作ができているかどうか b:図面の正しい読み取り、作図ができているかどうか c:自分で考え図面の作成ができているかどうか	正しい操作ができているか	図面を読み取り作図ができているか	自分で考え作図ができているか
		等角図の作成を行う	a:正しい図面の読み取りを理解ができているかどうか b:図面を読み取り、正しく等角図にすることができているか c:自分で考え作図ができているか	正しい図面の読み取りができているか	正しく投影図に直すことができているか	自分で考えて作図ができているか

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度